

# MUJI HOTEL SHENZHEN

プロデュース:スーパーポテト 設計: MUKU design studio

無印良品の思想を衣・食・住で体感する

「MUJI HOTEL」は、第1号店の設計をはじめアドバイザーボードメンバーとして「無印良品」に関わり続けてきた杉本貴志氏(スーパーポテト)にとって、悲願であったプロジェクト。中国・深圳市の商業施設「Upper Hills」内に開業した「MUJI HOTEL SHENZHEN」は、79室の客室を持つホテルと800坪の物販店舗、それをつなぐダイナーが一体となって計画された。衣・食・住を表現することで、「MUJIのあるライフスタイル」を一度に体験できる施設づくりがなされている。

杉本氏が目指したのは、簡素だが良質な空間。計画はMUJIの基本理念である、「これがい」ではなく「これでい」という思想を当てはめている。過剰になり過ぎた設備やサービスをシンプルにし、ホテルに必要な不可欠な機能的要

素を絞り込む作業を、全体のゾーニングからディテールに至るまで徹底した。木や土などのナチュラルで素朴な素材を基調とし、ホテルのロビーやダイナーでは、現地で手に入れた古木材や船の甲板などをインсталレーションとして表現。空間の密度を増している。客室は、「安眠」をコンセプトに、ヘッドボード側の壁に炭を練り込んだ珪藻土や天然麻素材のクロスを使用した。

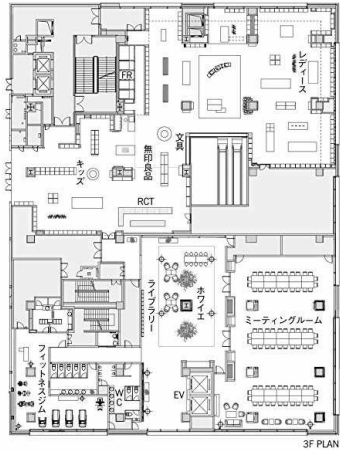
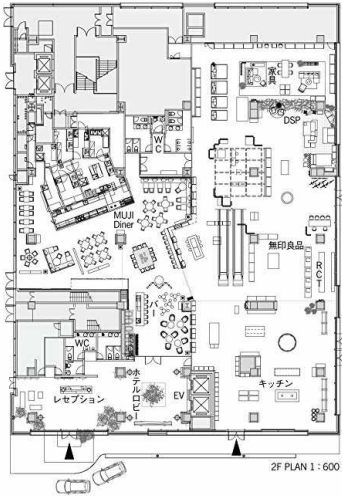
DATA

プロデュース:スーパーポテト 杉本貴志 新谷典彦(クリエイティブディレクション)  
 設計: MUKU design studio 青柳裕典 千葉隆太 チェンヨロン  
 設計協力: 照明計画/ヌーサデザイン 若井 修 サイン/日本デザインセンター 原デザイン研究所  
 施工: 2. 4階/ Hua Chuang 5. 6階/ Jingong 無印良品, MUJI Diner/ ZHANGFA  
 施工協力: 厨房設備/ 福久島貿易有限公司(上海) 家具/ ゲートジャパン 什器/ 玉俊工業所(無印良品)  
 所在地: 中国広東省深圳市福田区華富街道皇崗路5001 深業上城(Upper Hills)内  
 工事種別: 内装のみ 新築

床面積: 1万237㎡(うち厨房130㎡) / 2階2312㎡ / 3階2312㎡ / 4~6階各1871㎡  
 工期: 2017年6月~2018年1月

営業内容  
 開業: 2018年1月18日  
 チェックイン/アウト: 午後2時/正午  
 営業時間: 無印良品/午前10時~午後10時 MUJI Diner/午前6時30分~午後11時(金・土曜日のみ午前0時まで)  
 電話: +86-755-2337-0000  
 経営・運営者: Shum Yip Land Ltd. (MUJI HOTEL) 無印良品(上海)有限公司(無印良品, MUJI Diner)  
 所有者: Shum Yip Land Ltd. 客室数: 79室  
 主な客室料金: 約1万6000円(Aタイプ1人当たり)  
 主な付帯施設: ダイニング&バー「MUJI Diner」 ミーティングルーム フィットネスジム 物販店「無印良品」

主な仕上り材料  
 床: オーク材フローリング貼り 無印良品/白卵石JB貼り 染色オーク材フローリング貼り  
 壁: PB下地薬すき入り土壁金ゴテ仕上げ ロビー、ダイニング/古材集積 古鉄板磨き染色仕上げ 無印良品/染色古材貼り 客室/PB下地珪藻土金ゴテ仕上げ 織物クロス貼り  
 天井: PB下地樹脂系複層仕上げ材吹き付け(ジョリパッド 肌ず肌/アイカ工業)  
 家具: オーク無垢材



1. 2階「無印良品」の家具コーナー。古材を張り巡らせた壁面や頭上には、イスをダイニングに配している 2. 2階オールデイダイニング「MUJI Diner」。左手の壁面や柱には、現地で手に入れた船の甲板をインсталレーションとしてあらわしている 3. 3階「無印良品」をフィッティングルーム側からレイダースコーナー方面に見る。天井やインсталレーションには、綿花や糸と共に、白く布地を使用した商品を使用している 4. 2階「MUJI HOTEL SHENZHEN」のレセプション 5. 角材で制作したレセプション脇のベンチ



撮影/浅川 敏